

I. 一般目標 (General Instructional Objective)

内分泌・代謝疾患を適切に診断し、病態に応じた治療を行える能力を修得するとともに、その診療を通じて、内科の基本的診療に必要な知識・技能・態度を身に付け、患者中心の全人的医療を展開する医師を育成する。

II. 行動目標 (Specific Behavioral Objectives)

1. 代謝疾患

糖尿病、脂質代謝異常症、痛風、肥満症、サルコペニアなどの診断・検査・治療を理解する。特にこれらの生活習慣病について、慢性合併症を予防するための食事療法・運動療法・生活指導を理解し、それぞれの疾患の治療薬の特徴を熟知したうえで、適切に使用することができるようにする。糖尿病はさらに周術期、シックデイ、糖尿病合併妊娠などの状況に応じた治療について理解する。

2. 視床下部・下垂体疾患

内分泌ホルモンの作用メカニズムを通して疾患をより深く理解し、下垂体前葉機能低下症、先端巨大症、クッシング病、プロラクチノーマ、尿崩症、ADH不適合併症候群などの検査(特に内分泌負荷試験および画像診断)、治療について修得する。

3. 甲状腺疾患

バセドウ病、慢性甲状腺炎、亜急性甲状腺炎、無痛性甲状腺炎、甲状腺腫瘍、粘液水腫などの診断、治療について理解する。

4. カルシウム代謝異常

副甲状腺機能亢進症・低下症、骨粗鬆症などの診断、治療について理解する。

5. 副腎疾患

副腎皮質機能低下症(アジソン病など)、クッシング症候群、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫などの診断、治療について理解する。

6. 性腺疾患

性腺機能低下症などの診断、治療について理解する。

7. その他

多発性内分泌腫瘍、膵・消化管ホルモン産生腫瘍(インスリノーマなど)、神経性食思不振症、電解質異常などの診断、治療について理解する。

III. 方略 (Learning Strategies)

病棟・外来でのトレーニング、学会参加(スライド作製、発表、症例報告など)、カンファレンスなど

IV. 経験できる疾患・手術など

上記到達目標に示している疾患。特に市中病院で経験することが困難な稀な疾患についても研修できる。

甲状腺疾患関連: エコー、穿刺吸引細胞診、エタノール注入療法、甲状腺眼症に対するステロイドパルス療法、放射線療法。

内分泌疾患関連: 各種負荷試験による診断。CT、MRIなどの画像診断、核医学検査、選択的静脈サンプリング。

糖尿病関連: 基礎代謝測定、インスリン抵抗性評価としてのsteady state plasma glucose (SSPG)法、人工膵臓を使用したグルコースクランプ、持続血糖測定器、持続インスリン注入器、またインスリンポンプに持続血糖測定機能が搭載されたsensor augmented pump (SAP)療法を用いた血糖コントロールなど最先端の糖尿病治療について研修できる。

糖尿病合併症関連: 眼底撮影、Flow Mediated Dilation (FMD)による血管内皮機能評価、13C呼気試験法胃排出速度測定。

V. 評価 (Evaluation)

Minimum EPOC、症例発表による自己評価・指導医評価。
指導医・看護師などによる形成的評価。

VI. 指導者と研修施設

1. 診療部長 野村 政壽
2. 指導責任者 中山 ひとみ
3. 指導医 和田 暢彦、蘆田 健二、
岩田 慎平、大木 剛
4. 研修施設 久留米大学病院

VII. 週間予定

- | | | |
|---|-------|--------------------------|
| 月 | 8:30 | 新患紹介(チーム医療カンファレンス)、病棟総回診 |
| | 13:00 | クリニカルカンファレンス |
| | 16:00 | 抄読会、医局会 |
| 火 | 8:30 | 病棟・外来業務 |
| 水 | 8:30 | 病棟・外来業務 |
| 木 | 8:30 | 病棟・外来業務 |
| | 14:00 | 研究カンファレンス |
| 金 | 8:30 | 病棟・外来業務 |
| 土 | 午前 | 病棟業務 |

その他: 院内糖尿病コンサルテーション
産科、眼科との合同カンファレンス
小児科とのトランジションカンファレンス
形成外科とのフットケアカンファレンス
泌尿器科、脳神経外科、耳鼻咽喉科との合同カンファレンス

